ポイント　★1　乗法と除法の混じった計算

- 乗法と除法の混じった式は、**わる数を逆数にして、乗法だけの式になおす。**
- **符号を先に決める**　負の数が**偶数個なら ＋、奇数個なら −**。そのあと、絶対値をまとめて計算する。
- $(-12) \div (+3) \times (-2) = (-12) \times \dfrac{1}{3} \times (-2) = +\left(12 \times \dfrac{1}{3} \times 2\right) = 8$

まちがえやすい点：$12 \div (-3) \times (-2)$ で、$(-3) \times (-2)$ を先に計算して $12 \div 6 = 2$ とするのは**まちがい**。わる数 -3 だけを逆数にする。

例題1　整数の乗除

$(-18) \div (+6) \times (-5)$ を計算しなさい。

解き方 負の数が2個なので ＋。$(-18) \times \dfrac{1}{6} \times (-5) = +\left(18 \times \dfrac{1}{6} \times 5\right) = 15$　　**答**　15

たしかめ

次の計算をしなさい。

(1) $(-4) \times (+6) \div (-8)$

答

(2) $(+20) \div (-5) \times (+3)$

答

(3) $(-36) \div (-4) \div (-3)$

答

(4) $(-2) \times (-15) \div (+6)$

答

(5) $(+48) \div (-6) \times (-2)$

答

(6) $(-7) \times (+8) \div (-14)$

答

(7) $(-54) \div (+9) \div (+2)$

答

(8) $(-3) \div (-12) \times (+8)$

答

(9) $(+16) \times (-3) \div (+12)$

答

(10) $(-3) \times (+8) \div (-6)$

答

(11) $(+42) \div (-7) \times (+2)$

答

(12) $(-60) \div (-5) \div (-4)$

答

解答（答えと短い解き方）

正負の数 基礎③ 乗法と除法の混じった計算

たしかめ

(1) 3

負の数が2個なので ＋。$4 \times 6 \div 8 = 3$

(2) -12

負の数が1個なので −。$20 \div 5 \times 3 = 12$

(3) -3

負の数が3個なので −。$36 \div 4 \div 3 = 3$

(4) 5

負の数が2個なので ＋。$2 \times 15 \div 6 = 5$

(5) 16

負の数が2個なので ＋。$48 \div 6 \times 2 = 16$

(6) 4

負の数が2個なので ＋。$7 \times 8 \div 14 = 4$

(7) -3

負の数が1個なので −。$54 \div 9 \div 2 = 3$

(8) 2

負の数が2個なので ＋。$3 \div 12 \times 8 = 2$

(9) -4

負の数が1個なので −。$16 \times 3 \div 12 = 4$

(10) 4

負の数が2個なので ＋。$3 \times 8 \div 6 = 4$

(11) -12

負の数が1個なので −。$42 \div 7 \times 2 = 12$

(12) -3

負の数が3個なので −。$60 \div 5 \div 4 = 3$